



田 隈 中 通 信

【学校教育目標】

将来の生き方を思い描き、社会に貢献しようとする生徒の育成

大牟田市立田隈中学校

R 4 . 5 . 1 3 (金)

発行 藤井 清午

第 3 号

【授業参観 ～多数のご参加ありがとうございました～】



5月7日(土)1限に3年生の進路説明会、2限に全学級の授業参観を実施しました。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症拡大のため、授業参観をやむなく中止しておりましたが、今年は感染症防止対策を十分とった上で行いました。

久しぶりの授業参観ということもあってか、どの学年も多くの方に参観していただいたようです。

保護者の皆様には、昇降口での検温、手指消毒、参観人数の制限、授業の前・後半での交替、スリッパ持参等、お手数をおかけしましたが、皆様のご協

力で無事に授業参観を終えることが出来ました。ありがとうございました。

【3年進路説明会より】

1限に体育館で行われた3年生進路説明会も、多くの保護者の方に参加していただきました。卒業までの進路選択の方法や受験の種類、奨学金、体験入学等、具体的な内容について3年職員から説明が行われました。3年生の皆さんも、説明を真剣に聞いていたようでした。

中学校での進路選択は、多くの方が初めて経験する人生の分岐点だと考えます。まだまだ将来のことがイメージできない人も多いと思います。しかし、自分の進路ですから人任せにしたりせず、保護者や先生のアドバイスを受けながら、最終的には自分で考え決定しなくてはなりません。では、今なにをすべきなのか。3年生が進路を実現するにあたり、これから卒業までにすべきことは、

- ・進路に関する情報をしっかり集めること
- ・自分の適性や将来進みたい方向、現在の学力などについて、相談しながらよく考えること
- ・1日でも早く学習に取りかかること

だと思います。中学校のこの時期に進路を選択することは大変難しいことですし、悩むこともあると思います。しかし、分からないからと考えるのを止めるのではなく、情報収集やオープンスクールへの参加、学習時間の確保など、できることはやっていきましょう。また、分からないところはどんどん3年生の先生方に相談して、解消するようにしていきましょう。

◆◆進路に関する言葉◆◆

進路についての話を聞くとき、よく出てくる言葉が次の一文です。

「彼を知り己を知れば百戦危うからず(かれをしりおのれをしればひやくせんあやうからず)」

これは中国の春秋時代の孫武という人物の書「孫子の兵法」に出てくるもので、意味は「敵のことをよく知り、自分のことをよく知れば、百回戦っても負けることはない」となります。つまり、これを進路に当てはめると「進路先のことをよく把握し、自分の適性や実力をよく考えて学習に取り組むならば、進路が実現しないことはない」となるでしょう。

今から2500年以上前の言葉が今でも用いられたり研究されたりしているのですから、重みがあります。とりあえず、この言葉の通り万全の体制で進路選択に臨めるよう、まず自分でやることを行動に移していきましょう。

※ ちなみに「孫子の兵法」には、武田信玄の旗印としても有名な「風林火山」という言葉もあります。

実は「風林火山」には続きもあるので、興味のある人は調べてみよう。